

2025年度 川崎医科大学 前期理系 第1問

問題 座標平面上に2つの直線 $l: y = 2x + 4$, $m: y = -2x + 12$ がある。2直線 l , m の交点を A とし、直線 m と x 軸の交点を B とする。線分 AB を直径とする円を K とし、直線 l と円 K の共有点で A でない方を C とする。また、 $D(2, 0)$ とする。

(1) 点 A の座標は $(\boxed{\text{ア}}, \boxed{\text{イ}})$ であり、円 K の中心の座標は $(\boxed{\text{ウ}}, \boxed{\text{エ}})$ 、半径は $\boxed{\text{オ}}\sqrt{\boxed{\text{カ}}}$ である。また、点 C の座標は $(-\frac{\boxed{\text{キ}}}{\boxed{\text{ク}}}, \frac{\boxed{\text{ケコ}}}{\boxed{\text{サ}}})$ である。

(2) $\angle ADC = \alpha$, $\angle BCD = \beta$ とするとき、 $\tan \alpha = \frac{\boxed{\text{シ}}}{\boxed{\text{ス}}}$ であり、 $\sin(\alpha - \beta) = \frac{\boxed{\text{セ}}\sqrt{\boxed{\text{ソ}}}}{\boxed{\text{タチ}}}$ である。

(3) a を定数とし、円 K の点 D を含む弧 BC と線分 AB および線分 AC で囲まれた領域を L とする。点 (x, y) が領域 L を動くとき、 $ax - y$ の最大値 M は、

$$a < -\frac{\boxed{\text{ツテ}}}{\boxed{\text{ト}}}$$

のとき、 $M = \frac{\boxed{\text{ナニ}}}{\boxed{\text{ヌ}}}(a + \boxed{\text{ネ}})$

$$-\frac{\boxed{\text{ツテ}}}{\boxed{\text{ト}}} \leq a < \frac{\boxed{\text{ノ}}}{\boxed{\text{ハ}}}$$

のとき、

$$M = \boxed{\text{ヒ}}a - \boxed{\text{フ}} + \boxed{\text{ヘ}}\sqrt{\boxed{\text{ホ}}(a^2 + \boxed{\text{マ}})}$$

$$\frac{\boxed{\text{ノ}}}{\boxed{\text{ハ}}} \leq a$$

のとき、 $M = \boxed{\text{ミ}}a$

である。

また、 a の値が変化するとき、 M が最小値をとるのは、 $a = \boxed{\text{ムメ}}$ のときである。